

【学校の教育目標】
・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子
【目指す学校像】
学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】
重なるの協調 柔軟な捉え方
愉快地に楽しく

校長 渡部 順一

整える



before



after

第一校舎1階印刷室の before と after

- 物置化していた大型機などを撤去 →導線の確保による安全性の向上
- 不要資料などの廃棄 →徹底した整理整頓による機能性の向上
- 棚などの収納物の分別の徹底 →現有物の徹底利用による予算の有効活用

12月は、年度で捉えると途中ですが、暦年だと年末となり大きな節目を迎えます。この時期には、校長室はもちろんのこと、職員室、各教室、特別教室も確実に増えているものがあります。

それは、書類をはじめとする様々な「モノ」です。すぐに所定の場所にファイリングしたり元の置き場に戻したりすればいいのですが、ついつい後回しにしがちです。そして、いつの間にか「モノ」が滞留してしまう状態に。

「破れ窓理論」を、ご存じの方が多くはと思いますが、例えば、学校でしたら雑然とした教室で生活していると、学習や心、人間関係などあらゆる面で悪影響を受けるといえます。

人は、「環境」に強い影響を受けます。身の回りなどの環境を改善していけば、心の状態や取り組む姿勢も上向きになっていきます。

「整える」の現時点での状況は、非常に進行しているとまではいきませんが、少しずつですが着実に取り組みを進めているところです。子供たちと教職員とで、力を合わせ一つ一つ整えています。

今月は、今年一年の締めくくりの時期です。「大掃除」という言葉がある通り、気持ちよく新学期、新年を迎えたいものです。残された2学期の日数は後わずかですが、身近な生活環境を適切に保ち、さらに一步改善できるよう、ていねいに学校生活のまとめを進めてまいります。

引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。